













週間市場レポート (2021年3月22日~3月26日)

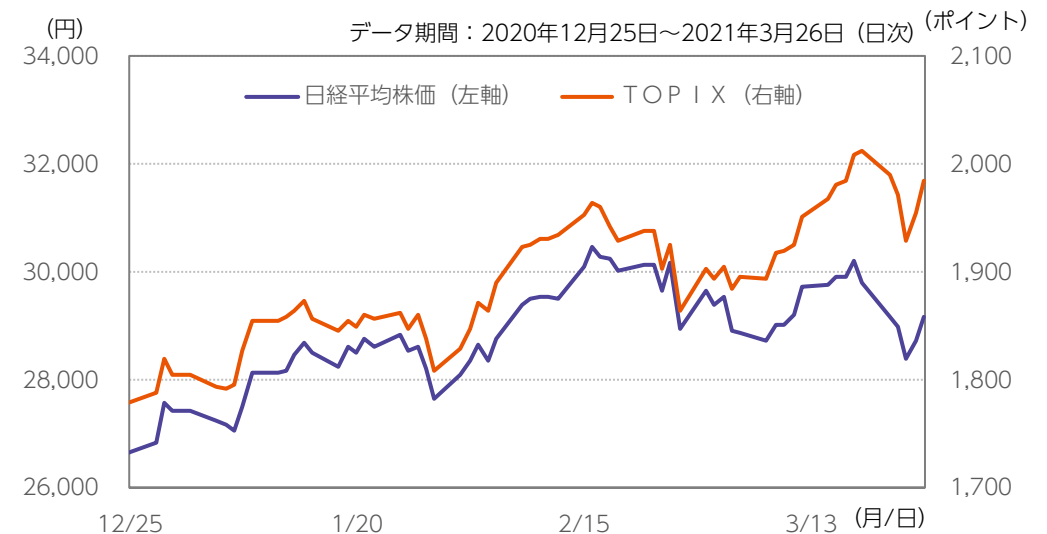
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/3/19	先週末 2021/3/26	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		29,792.05	29,176.70	▲ 2.07 ↓
TOPIX (東証株価指数)		2,012.21	1,984.16	▲ 1.39 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		32,627.97	33,072.88	1.36 ↑
S & P500種指数		3,913.10	3,974.54	1.57 ↑
ナスダック総合指数		13,215.24	13,138.72	▲ 0.58 ↓
ユーロ・ストックス50指数		3,837.02	3,866.68	0.77 ↑
S & P/ASX300指数		6,699.90	6,810.15	1.65 ↑
上海総合指数		3,404.66	3,418.33	0.40 ↑
MSCI AC アジア (除く日本)*		1,066.01	1,046.06	▲ 1.87 ↓
東証REIT指数		1,978.30	2,003.14	1.26 ↑
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		753.23	778.23	3.32 ↑
ASX300 REIT 指数		1,388.60	1,423.20	2.49 ↑
グローバルREIT (除く日本)*		181.46	185.37	2.15 ↑
日本10年国債 (%)		0.113	0.083	▲ 0.030 ↓
米国10年国債 (%)		1.721	1.676	▲ 0.045 ↓
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.294	▲ 0.346	▲ 0.052 ↓
英国10年国債 (%)		0.838	0.757	▲ 0.081 ↓
ドル/円		108.88	109.64	0.70 ↑
ユーロ/円		129.62	129.34	▲ 0.22 ↓
英ポンド/円		150.96	151.28	0.21 ↑
豪ドル/円		84.29	83.79	▲ 0.59 ↓
フィラデルフィア半導体指数		3,011.37	3,106.28	3.15 ↑
WTI原油先物 (ドル)		61.42	60.97	▲ 0.73 ↓
CRB指数		188.79	187.73	▲ 0.56 ↓

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落となりました。前週（3/19）の日銀金融政策決定会合で、上場投資信託（ETF）の買い入れ対象から日経平均株価が除外されたことから、日経平均はTOPIXと比較しやや下落幅が大きくなりました。欧州での新型コロナウイルス感染再拡大や国内の新規感染者数が再び増加していることなどから、週初より3日続落し、24日の終値はおよそ1ヵ月半ぶりの安値となりました。週末にかけては、バイデン米大統領のワクチン接種増計画を背景に上昇した米国株を受けて上昇となったものの、週間では日経平均株価は下落となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

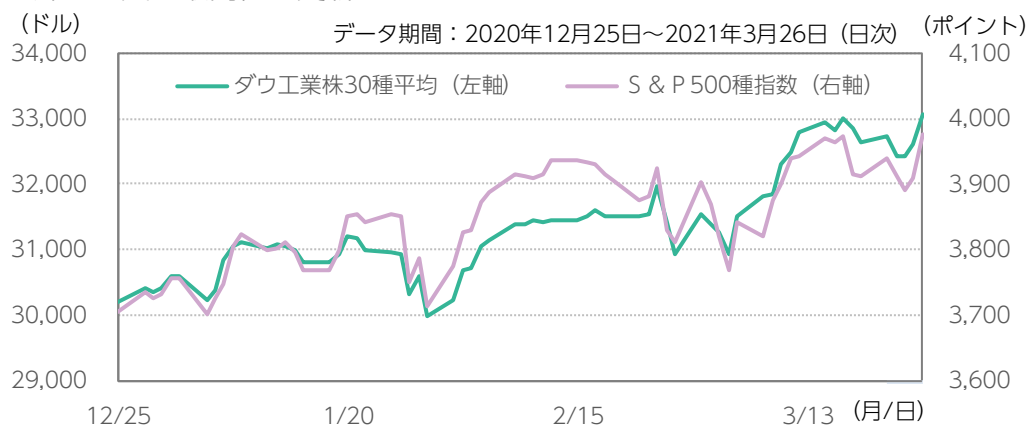
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下となりました。
 欧州における新型コロナウイルス感染再拡大で、投資家のリスク回避姿勢が優勢となり、相対的に安全資産とされる債券は買いが優勢となりました（利回りは低下）。また、米長期金利の上昇がやや一服したことも、国内金利の下落要因となりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

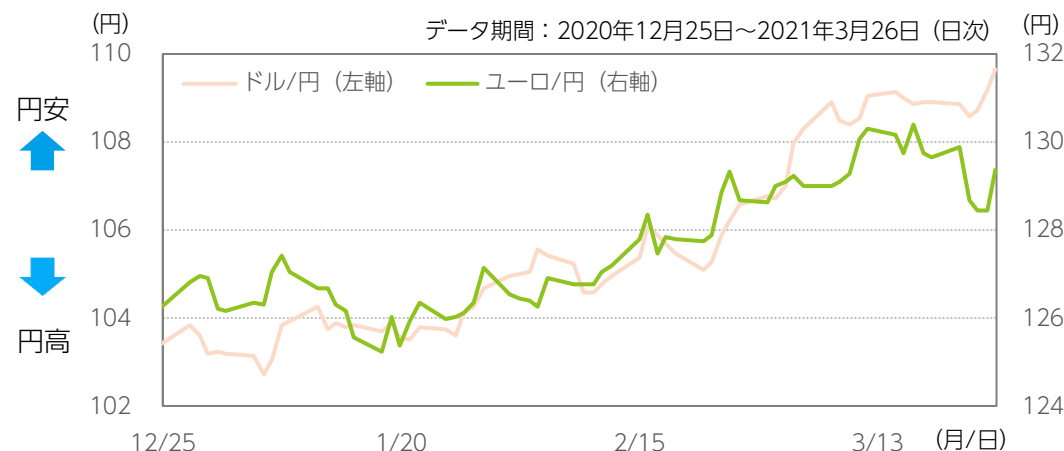
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。
 相場の押し下げ要因となっていた米長期金利の落ち着きが見られたものの、欧州での新型コロナウイルス感染再拡大により、世界経済回復が遅れるとの懸念から、景気敏感株を中心に売りが優勢となりました。バイデン大統領がワクチン接種計画の倍増を公表すると、米景気の早期回復期待から週末まで上昇し、史上最高値を更新しました。



出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。
 感染再拡大による欧州での経済活動の再制限で投資家がリスク回避姿勢を強めたことから円買い米ドル売りが進みました。週末にかけては、米景気の早期回復期待から米長期金利が再び上昇し、日米金利差の拡大を意識した円売り米ドル買いが優勢となり、週間では円安米ドル高となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、欧州での新型コロナウイルス感染再拡大により世界経済の回復が遅れるとの懸念が強まりました。日本市場は前週末比で下落、米国市場は、米国内のワクチン接種の加速期待から週末にかけて上昇し、前週末比で上昇となりました。

バイデン米大統領は、就任100日にあたる4月末までに、米国内で約2億回分の接種をめざすとし、当初目標から計画を倍増することを表明しました。ワクチン接種がさらに加速することで、米国の景気回復が進むとの期待が高まっています。一方、米国に比べ接種が遅れている欧州では、変異種による感染が再拡大しており、フランスやイタリアなどの一部地域において外出制限が再び強化されており、景気回復の遅れが懸念されます。

今週の株式市場は、ワクチン普及加速への期待から日米両市場ともに上昇すると見込みますが、日米で重要経済指標の公表があり、結果次第では株価の上値を抑える要因となりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>